



教育と子どもの未来を創る

啓心

横山啓一 市議会だより

2024年 秋号

〒070-0824 旭川市錦町15丁目2979-6

TEL/FAX (0166) 55-5584

E-mail: yokoyama@k-yokoyama.net

## 第3回定例会が終了

9月10日から12日間の会期で2024年第3回定例会が開催され、以下の審議などが行われました。

- 2023年度各会計決算の認定
- 一般会計等補正予算案と関連条例の改正など
- いじめ再調査報告と緊急質問
- 一般質問 (9月18日～20日、16人)

## 2023年度各会計決算を認定

### いじめ再調査報告書に対して緊急質問

閉会日の10月10日には、各会計決算の認定の他、以下の意見書・決議の採択が行われました。

- 「義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書」など、8本の意見書
- 「米軍人による性的暴行事件に厳重に抗議し、実効性のある対策等を強く求める決議」

## 補正予算等審査特別委員会

- ◆ 関連議案として提案された旭川市スキー場条例の一部を改正する条例の制定について質疑しました。

### Q 料金改定の理由は

- ▶ A 物価高騰による運営コスト上昇への対応、魅力や利便性向上に向けた投資のための財源に。

### Q 激変緩和措置の考え方は

- ▶ A 急激な値上げによる利用者負担軽減のため、条例上の上限額を2段階で見直す。2025年度以降の料金は今シーズンの状況をふまえ、指定管理者(大雪カムイミンタラDMO)と協議する。(ア)

## 決算審査特別委員会

- ◆ 以下の項目について、2023年度の事業内容、決算の状況、今後の課題などを質疑、指摘しました。

### ■ 新型コロナウイルスワクチン接種事業

- ワクチン接種開始後の感染状況、健康被害の発生など、市独自に検証が必要

### ■ ワクチン接種事業

- ワクチン接種周知のための学校利用の問題

### ■ アイヌ施策推進地域計画による事業

- 第1期地域推進計画の総括と第2期計画策定の見通し、「知里幸恵資料館」整備の可能性

### ■ いじめ防止対策費

- 市教委の「いじめ全事案」報告との関係、「旭川モデル」の効果検証の必要性 (ア)



- ◆ 市議会HPで、本会議、特別委員会の中継録画を1年間視聴できます。ぜひご覧ください。

## Q 学校スキー授業利用の料金、改定の影響は

- ▶ A 昨シーズンまでは、上限額とは別に指定管理者が決定し、基本料金の半額程度にしてきた。バス代の上昇などにより、スキー授業数が減少しているとも聞いている。様々な意見をふまえ、指定管理者と協議していく。

他の議員からの追及も多く、市と指定管理者の協議の結果、今シーズンの小学生料金、スキー授業の料金は据え置くことに。しかし、バス料金高騰の影響のほろが大きく、各学校では授業の継続の議論が行われているほど。市・市教委は、保護者負担軽減、バス台数の確保など何らかの対応をとるよう、第2回定例会の一般質問に続き、重ねて求めた。



### ■ 少人数学級編制事業

- 事業中止の判断の経緯、市費負担教員の活用

### ■ 特別支援教育推進費による補助指導員配置

- 支援学級在籍児童・生徒の急増と、それに対応できない補助指導員配置、未配置校の課題

### ■ スクール・サポート・スタッフ配置事業

- 現状の課題と市費による配置増の可能性

### ■ 学校用務員の配置

- 草刈り作業による事故、除排雪などの負担、会計年度任用職員への切り替えの問題

### ■ 学校図書館活性化推進費 (学校司書配置)

- 増員の見通し、複数校兼務の解消

### ■ スクールカウンセラー活用推進費

- 配置時数増、全中学校への常駐の可能性

### ■ スキー授業の保護者負担

- 外部講師利用の状況、バス代高騰とバス確保に対する行政の支援

### ■ フッ化物洗口事業

- コロナ禍による事業中止から再開の経緯、保護者説明の不足、教職員の負担軽減の必要性

## いじめ再調査報告に対する緊急質問

◆いじめ重大事態に関する再調査委員会の公表版が、9月13日の市議会本会議で市長所見とともに発表されました。これに対して、17日に私を含む4人の議員が緊急質問に立ちました。

### 再調査後も残る疑念や課題を指摘

- ①公表版に削除された部分があるのなら、何がどのような理由・判断で削除されたのか。
- ②2つの報告書で異なる判断となっている部分の整合性はどうか。
- ③学校の対応の責任が強く指摘されているが、具体的に何が問題だったのか。組織としての学校の課題なのか、個々の教職員の問題なのか。
- ④具体的な学校の課題を明らかにした上で、「旭川モデル」の評価・検証が必要ではないか。
- ⑤「いじめの再発防止の提言」には学校や市教委にとってハードルの高い内容、国等の課題に言及しているが、市・市教委は本気で取り組むのか。
- ⑥本件に関わる教員や生徒が報道やSNS上で過度な批判にさらされ、今回の報告書でも真偽が明らかにされていない。救済や補償はされるのか。

市・市教委の答弁は十分なものとは言えなかったが

①いじめの認定や重大事態の原因については調査結果の評価が必要、②再調査報告を受け、とりくみや対策の検証、見直しを行う、③SNSなどに個人名や写真を掲載して非難するような個人攻撃は許されない、などの答弁を受け、とくに再発防止に向けて、事実を精査し、別な場で検証を続けて行くこと、それによって初めて「旭川モデル」を評価できることを訴えた。

また真に意味のある再発防止策を構築するには、子どもに一番近いところにいる教職員や、民間の教育研究者などの意見も取り入れるべき。



## 「議場に国旗掲揚を求める陳情」1票差で採択

①尊重・掲揚の義務のない「国旗・国歌法」は掲揚の根拠にならない、②「思想・良心の自由」を侵害する可能性がある、③学校現場で起きている掲揚や尊重の強制の実態、④旭川にも居住している外国籍の人々を議会が排除するような印象を与えかねない、などの観点で反対の討論を行いました。

## 子育て文教常任委員会

### フルインクルーシブを経験した元中学生たちと意見交換会



昨年度に続き「障害児も地域の普通学級へ・道北ネット」との意見交換会を8月21日に開催。重い障害があっても中学校3年間で普通学級で学んだ平田和毅さんとその同級生たち、学級担任の曾我部先生の経験をうかがいました。

### 元同級生たちの声から

◆「障害だから」という壁を壊したい。「できない」と勝手に決めつけないでほしい。◆「してあげる」ではなく「協力する」ことでより人に優しくなれた。◆どんな個性の人に会っても偏見を持たない自分になれたのは、中学校での経験のおかげ。◆カズキとの関係性を見て、その人の良さを見つけられた。◆一般の人が障害のことをもっと知ってほしい。難しく考えないで、大人は子どもを信じてほしい。



★平田江津子著『カズキはクラスの太陽だ！  
重度知的障害＋自閉症児の普通学級ライフ』  
(ミツイパブリッシング、1800円＋税)  
カズキさんと仲間たちのことが本になりました。

▶10月27日投開票の衆議院選選挙は、この国が真に民主主義の民主主義国になれるかどうかの分岐点。裏金問題、カルト教団や特定の企業・団体との癒着が、今の経済停滞、少子化、食糧政策の失敗などを引き起こした。▶「日本被団協」のノーベル平和賞受賞は久々にうれしいニュース。同時に、この国の核兵器や平和に対する姿勢に、ノーベル賞委員会が警鐘を鳴らしたとも言える。あの戦争の惨禍を、私たちはどう総括し教訓としてきたのか。▶袴田巖さんの無罪が10月9日に確定。再審請求から実に40年以上が過ぎ、失われた彼の人生は取りもどすことができない。明治憲法時代の性格を残す刑法体系の不備も、歴史の清算が終わっていない証拠。▶決算審査で新型コロナワクチンの問題を取り上げた。緊急承認の結果、多くの死亡や健康被害を引き起こしたこと、大多数の国民がワクチン(ア)

接種を終えていた2022年後半から感染者も死者もピークを迎えていたこと、その期間に感染症5類への移行が検討されていたことなど、忘れずに検証しなければならない。▶「障害児」の高校進学を実現する全国交流集会在10月5日・6日に旭川で開催され、実行委員としてお手伝いを。「分けることは差別」であると、長い間闘ってきた人々の思いを共有した2日間。上に紹介した平田江津子さんの著作も是非お読みいただきたい。貸出もご用意しています！▶今年2月を最後に姿を見かけないエゾフクロウ。嵐山の動物たちの暮らしにも変化が起きているのか。急な気温の変化でつい体調を崩しがちな季節、皆様もどうかご用心ください。(啓)

